



平成 24 年 10 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社 鳥 取 銀 行
代 表 者 名 取締役頭取 宮崎 正彦
(コード番号 8383 東証第 1 部)
問合わせ先 執行役員経営統括部長 山上 恵吾
(TEL 0857-37-0260)

平成 25 年 3 月期第 2 四半期(累計)業績予想の修正
及び有価証券評価損並びに特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 24 年 5 月 14 日に公表しました平成 25 年 3 月期第 2 四半期(累計)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平成 25 年 3 月期第 2 四半期において減損処理による有価証券評価損を計上する必要が生じたこと、並びにシステム移行に伴う精算金を特別損失に計上することとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 9 月 30 日)

(1) 連結業績予想の修正

(単位: 百万円)

	経常利益	中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	800	500	5 円 28 銭
今回修正予想 (B)	1,080	500	5 円 35 銭
増減額 (B-A)	280	0	
増減率	35.0%	0.0%	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 24 年 3 月期第 2 四半期)	614	324	3 円 42 銭

(2) 単体業績予想の修正

(単位: 百万円)

	経常利益	中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	800	500	5 円 28 銭
今回修正予想 (B)	1,060	490	5 円 19 銭
増減額 (B-A)	260	△10	
増減率	32.5%	△2.0%	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 24 年 3 月期第 2 四半期)	587	309	3 円 26 銭

(3)業績予想修正の理由

①単体業績予想の修正

経常利益は、保有有価証券の減損処理を実施したものの、与信関連費用が当初予想を下回ったこと等により、従来予想を上回る見込みであります。

中間純利益は、経常利益が従来予想を上回る見込みとなったものの、システム移行に伴う精算金の計上等により、従来予想程度となる見込みであります。

なお、平成 25 年 3 月期通期の業績予想につきましては、平成 24 年 11 月 12 日に予定しております第 2 四半期決算発表時にお知らせする予定であります。

②連結業績予想の修正

単体業績予想の修正の影響によるものであります。

2. 平成 25 年 3 月期第 2 四半期における有価証券評価損

	連結・単体
平成 25 年 3 月期第 2 四半期会計期間(平成 24 年 7 月 1 日から平成 24 年 9 月 30 日まで)の有価証券評価損の総額 (=A-B)	171 百万円
(A)平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 24 年 4 月 1 日から平成 24 年 9 月 30 日まで)の有価証券評価損の総額	374 百万円
(B)直前四半期(平成 25 年 3 月期第 1 四半期)累計期間(平成 24 年 4 月 1 日から平成 24 年 6 月 30 日まで)の有価証券評価損の総額	203 百万円

※ 四半期における有価証券の評価方法は、第 2 四半期末、第 4 四半期末は切放し方式、第 1 四半期末、第 3 四半期末は洗替え方式を採用しております。

※ 当行の決算期末は、3 月 31 日です。

3. システム移行に伴う精算金の特別損失計上について

基幹系システムの移行に伴い、従来のシステム共同化からの離脱に伴う精算金を特別損失として計上するものであります。

内容	特別損失
システム移行に伴う精算金	193 百万円

以 上

※上記に記載した予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、様々な要因により変動する可能性があります。